

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2017年 夏号 vol.18



▲多職種のスタッフが一丸となり、安心の優しい医療を提供します。

特集 歯科口腔外科ってどんな科だろう？

がん診療コーナー 乳がん

お知らせ 院内をリニューアルしました！ ほか

もっと知りたい DMA T

地域の絆 すぎはら内科・消化器病クリニック

やまうち内科循環器科

2017.8.15 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念

安心の優しい医療を提供し、
市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。

歯科口腔外科って どんな科だろう？

特集

□は食べる、しゃべる、呼吸をする入り口です。熱いお茶を飲む一方冷たい氷を食べたりと、口腔内は急激な温度変化にさらされ、さらに咀嚼の際、奥歯一本に体重くらいの荷重がかかります。このように常に口腔は非常に過酷な環境にさらされています。さらに顎は顔の輪郭の一部を担っていて審美的にも非常に重要です。

歯科口腔外科とは、いったいどんな診療科でしょうか？また、どんな疾患があるのでしょうか？

歯科・歯科口腔外科部長 上原 雅隆

歯科口腔外科って？

最近標榜が可能になったこともあり、町の歯科医院でも歯科口腔外科の看板をあげている所も多くなりました。しかし、口腔外科とは具体的にどんな治療をするところなのかよくわからない方が多いのではないのでしょうか。そこで改めて口腔外科の紹介、また、当院の特徴を紹介してみたいと思います。

口の中の疾患は歯が原因で起こる感染症、顎の骨の骨折や歯の脱臼などの外傷、良性または悪性腫瘍、顎の骨または口腔内にできる嚢胞（袋状の病気）など非常に多岐にわたります。

ここに代表的な口腔外科疾患とその治療の一部をご紹介します。

● 親知らずの抜歯

特に下顎の親知らずは横に倒れて骨の中に埋まっていることが多く、しかもその場合、感染の原因となったり、隣の歯を虫歯にしたりと悪影響を及ぼす事があります。特に二十歳前後でこのような親知らずが確認された



ら早い時期の抜歯をおすすめします。

多くは外来で局所麻酔のみで抜歯できますが、深く埋伏している場合は全身麻酔下に行うこともあります。

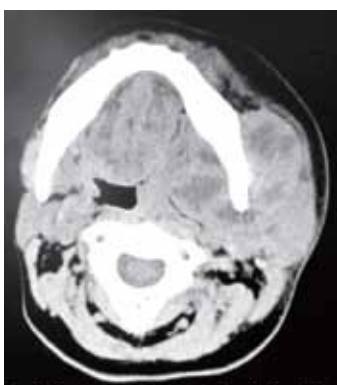


▲ 埋伏している親知らずの画像

● 炎症

親知らずや、虫歯で歯の神経（歯髄）といいますが、

とった歯の感染が原因で顎骨またはその周囲に炎症を起こすことがあります。放っておくと重篤な炎症に移行することがあります。



▲ 歯からの炎症が広範囲に波及した状態のCT画像

● 骨折

顎の骨折の治療は噛み合わせを元に戻すことを目指します。

他部位の骨折と異なり、顎にはギブスがつけられません。そのため、上と下の歯列に太い針金（シーネといいますが）を細い針金でくくりつけ、それを介して噛み合わせのまま口が開かないように針金で固定します。

そのまま骨折が治癒するまで保存的に治療することもあります。場合によっては手術により、

ずれた骨を合わせ、金属プレートで固定することもあります。



▲ 顎の骨折が認められる画像

● 嚢胞および良性腫瘍

埋伏歯を中心に嚢胞（袋状の病気）または良性腫瘍が認められることがあります。また、埋伏歯を伴わない病変が顎の中にできることもあります。顎以外でも口腔内軟組織にできる腫瘍が嚢胞、または良性腫瘍であることもあります。

これらの病変は、基本的に手術で取り除くことが必要です。



▲ 埋伏歯を中心に嚢胞が認められる画像

● 口腔がん（悪性腫瘍）

口腔がんとは、口の中にできるがんをいいます。

舌がんという病名は聞いたことがあるかもしれませんが、舌がんは口腔がんのひとつで、最も頻度が高い口腔がんですが、実はそれ以外の口腔内にもがんができることがあります。歯肉がん、口底がん、口蓋がん、頬粘膜がんなどがそれです。

口腔がんという言葉はあまり聞いたことがないかもしれませんが、がん全体の1%ほどを占めます。現在2人に1人はどこかのがんにかかるといわれていますので、およそ200人に1人が口腔がんになる計算です。また、その頻度は子宮頸がんと同じともいわれています。

当院の重点診療項目のひとつとして、悪性疾患が挙げられています。当科においても病院の方針に貢献したいと考えています。

口腔がんの多くは、痛みがない潰瘍として現れますが、多くはその前に白板症という白色の病変が先行します。なかなか治らない口内炎と勘違いし、大きくなって歯科医院を受診する方が非常に多く見受けられます。口腔がんの治療は、補助的に放射線治療、抗がん剤治療を行うこともありますが手術が中心となります。小さい病変の場合は切除後縫い合わせるだけですむこともあります。大きい病変を切除した場合、他の部分を移植して再建することが必要になります。



▲ 前腕皮弁での舌の再建術後

口腔がんの治療は、しっかりとがんを治すことを最大の目標とすることはもちろんですが、術後に機能障害がなるべく出ないように、また顔貌の変形が少ないように心がけます。口腔がんは他部位がんと比較して、比較的予後がよいとされています。

特に初期の状態でしっかりと治療すれば、口腔がんは決して恐ろしい病気ではありません。

何か口の中に気になることや、下記のような症状がある方は、是非、**歯科口腔外科**を受診してください。

- 顎が痛んだり、腫れたことがある。
- 顎を強く打った後、噛み合わせが合わない。
- 口の中が痛くないのに腫れている。
- 口の中に何かできている。
- 口内炎がなかなか治らない。 など



乳がんとは？

成人女性の乳腺は、大まかに乳汁を分泌する小葉と、それをつなぐ乳管からできています。小葉や乳管を裏打ちしている上皮細胞から発生する癌を乳がんといいます。乳がんの約90%は乳管から発生し乳管がんと呼ばれ、小葉から発生する乳がんが5～10%あり小葉がんと呼ばれます。

胸の大小はがん発症に関連しませんが、好発年齢は40～50代といわれています。

初発症状で最も多いのはしこりで、乳がんでは石のように硬く、ごつごつした感触で、押ししても動きにくいという特徴があります。また、症状がなくとも、マンモグラフィ検査と乳腺超音波検査で異常を指摘されることも多く、がんが疑われる場合は、針で刺して組織をとり、顕微鏡検査で調べ、がん細胞が発見されると、乳がんの診断がつきます。

マンモグラフィ検査と乳腺超音波検査について

マンモグラフィ検査は、乳房専用のエックス線検査で、圧迫板で乳腺を挟み、薄く引き伸ばして撮影します。腫瘍や小さな石灰化の集まりなどがあると乳がんを疑いますが、若くて乳腺の厚い方は異常が写らない場合もあります。

乳腺超音波検査は、腫瘍の描写にはすぐれています。マンモグラフィと比べて部分的な情報しか得られないという欠点があります。乳がんの疑いのある方は両方の検査を受けることをお勧めします。

当院では、2016年6月にマンモグラフィを最新機種に更新し、格段に診断精度が向上しました。

乳がんの治療について

治療法には外科手術、ホルモン療法、化学療法（抗がん剤治療）、放射線療法があります。

肝臓や肺などへの遠隔転移がない場合は、基本的には外科手術が主流です。腋のリンパ節に転移があったり、腫瘍が大きい場合には手術前に化学療法やホルモン療法を行い、小さくしてから手術を行う場合もあります。手術後はそれぞれのがんの特性に応じて、ホルモン療法や化学療法を行います。

当院では、多職種からなるチーム医療を実践し、月1回はフィードバックのためのカンファレンスを行っています。

乳がんは、他のがんに比べ比較的治りやすいといわれています。また続々と新しい薬も出てきており、たとえ再発転移した方でも、治療成績は上がっています。あきらめずにがんばることが大切です。

＜外科・乳腺外科部長＞石光 いしみつ 寿幸 としゆき

【連載エッセイ】

看護部

看護部のご紹介

看護部では、昨年度患者さんの退院後の生活を見据えて、入院時から始める退院支援に取り組み、スタッフひとりひとりの意識も少しずつ向上してきました。

今年度は、もう一歩踏み込んで「受け持ち看護師を中心に退院支援を実行する」を目標の一つとして掲げ、師長会、主任会の退院支援グループを中心に取り組んでいます。

退院支援には、ご家族やケアマネージャー等との情報共有、

医師、医療ソーシャルワーカーをはじめ他職種との連携が不可欠です。より良い人間関係でチーム力を発揮するにはコミュニケーション能力も重要となります。当院で今年度から始まった「顔の見える連携交流会」は、院外の訪問看護師やケアマネージャーの方々



看護部長 さかもと ゆきこ 坂本 由紀子

4月より看護部長に就任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

から意見を伺える良い機会となっています。内服薬管理ひとつとってみても、入院中の私たちの支援や指導が退院後の患者さんの生活に大きく影響していることに気づかされます。今後はより多くのスタッフにも参加の機会を作りたいと考えています。

また、今年度は待望の入院支援センターが開設されました。病棟での入院手続き業務の負担軽減は勿論ですが、ここから「入院前からの退院支援」が開始できます。今はまだ小規模ですが、少しずつ拡大し軌道に乗せて行きたいと思っています。課題はまだありますが、今後もより一層、「患者中心の看護」に努めてまいります。

院内をリニューアルしました！

より良い環境の中で医療が提供できるよう、中央採血室・生理検査室・内視鏡室・3階西病棟（女性と子どもの病棟）など本館の各所をリニューアルしました！



中央採血室（1階）

旧中央採血室の隣へ移設しました。採血ブースも増設し、落ち着いた雰囲気の中での採血になりました。



生理検査室（2階）

1階にあった生理検査室を2階へ移設し、広々とした個室にて各検査を受診していただけるようになりました。



内視鏡室（1階）

個室の検査室2室、リカバリー室（回復室）、大腸検査前処置室（ご自宅での下剤服用が不安な方は、こちらで安心して服用していただけます）、車イス用トイレなどを備え、検査前後も快適に過ごしていただけるようになりました。（写真 左：内視鏡検査室、中央：リカバリー室、右：大腸検査前処置室）



栄養相談室（1階）

対面キッチンを備え、広々とした清潔感のある栄養相談室になりました。



3階西病棟（女性と子どもの病棟）（3階）

個室、4床室に加え、より快適に過ごしていただけるよう病棟の一部をリニューアルし、2床室とナースステーション横に新生児室を新設しました。（写真 左：小児用2床室、右：新生児室）



市民公開講座を開催しました。

6月24日（土）、「平成29年度第1回市民公開講座」を開催しました。

市民の皆さまの健康促進を目的とした公開講座で、今回は「肺がんを早期に発見するには？」と「ヘリコバクターピロリ感染と胃がん」と題し、2部構成で行いました。講師は、呼吸器外科部長 井上 政昭、消化器内科 医長 具嶋 正樹がつとめました。

当日は、132名もの方にご参加いただきました。ありがとうございました。



● 登録医の先生方へ ●
「平成29年度下関市立市民病院地域医療連携の会」を開催いたします。
開催日：平成29年11月22日（水）
※ご案内は、後日郵送いたします。

当院で働く職員を紹介します。

もっと
知り
たい。

DMAT



DMAT隊員 (放射線部主任)
さとう ひで き
佐藤 秀喜

「DMAT」とは何ですか？

大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（概ね48時間以内）に活動が開始できる機動性を持った、専門的な研修訓練を受けた災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）のことで、その頭文字をとり、略してDMAT（ディーマット）と呼ばれています。

「DMAT」の主な活動内容を教えてください。

DMAT（1隊）の基本的な構成



▲熊本地震時の出動隊員と避難所風景

は、医師1名、看護師2名、ロジスティック（業務調整員）1名で構成されたチームで、私はロジスティック隊員として活動しています。

ロジスティック隊員は、医師・看護師の後方支援、関係者との連絡調整、情報収集、必要な物資の調達などを行います。

現在、当院のDMAT登録者は、医師2名・看護師2名・ロジスティック2名の6名です。平成28年4月に発生した熊本地震の際には、当院のDMATも出動し、活動しました。

活動をしていく上で大切にしていることは何ですか？

常にロジスティック隊員の心構えである3K（機敏・機転・気配り）を心がけ、医療行為以外のあらゆる

事柄を引き受ける気持ちで活動をするからです。

休日の過ごし方や、最近ハマっていることを教えてください。

私、フルマラソンを走るんです！
運の良いことに、東京マラソンには2回出場しました。下関海響マラソンにも、第1回から8回まで全て出場しましたが、昨年の第9回は、残念ながらお尻に病を患いまして（笑）連続出場記録が途絶えてしまいました。また、有志の職員とテニスもしています。

このように、日頃から楽しく体を動かしてリフレッシュするとともに、DMAT出動時には、過酷な活動にも耐えられるよう鍛錬しています。



▲訓練等に積極的に参加しています。

今後いつ起こるかわからない災害に備え、DMATとしての様々な救命活動が確実にできるように訓練等へ積極的に参加し、出動要請があった場合には、速やかに出動できるような体制づくりに努めています。

認定看護師
だより
Vol.16



摂食・嚥下障害
看護認定看護師

たかはし りえ
高橋 理恵

当院では、患者さまの嚥下機能にあわせ、4段階の食事を提供しています。段階的に食事の難易度をあげていくことで、嚥下障害のある患者さまでも誤嚥性肺炎になることなく、安全に食事をすることができます。

摂食・嚥下障害看護認定看護師としての院内活動のひとつに、管理栄養士や言語聴覚士等多職種で行う嚥下回診があります。患者さまの嚥下機能は、病状やリハビリの進行状況等により変化します。そのような嚥下状態の変化にいち早く対応できることが嚥下回診の利点です。

多くの患者さまが、口から食べる楽しみを生涯味わえるよう、今後も活動していきたいと思えます。



地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 病診連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

すぎはら内科・消化器病クリニック 院長 すぎはら しげのり 杉原 重哲 先生

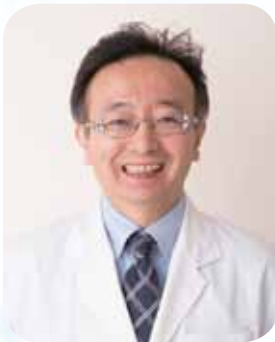
下関市立市民病院の先生方、看護師さん、病診連携室の方々には平素より大変お世話になっております。院長から違う視点からみたクリニック紹介をとのことで今回はスタッフN（勤続9年目突入）からお届けします。

当院は、平成21年に古屋町のハローデイの敷地内に武久町より移転しました。愛犬ちの君をモチーフにした犬のマークがクリニックのシンボルですので、当初は動物病院と勘違いしていた方もおられたそうです。

待合室に入ると、奥様がいわゆるカープ女子ですので、広島カープ選手のサイン、なかなか手に入りにくいカープカレンダーが飾られておりカープファンの方は必見です。また、院長推しの乃木坂46の雑誌も数多く取り揃えております。検査には絶食が必要ですが、うどん、焼き肉、お寿司、ハンバーグなどの飲食店が近隣にはそろっておりますので、胃カメラ、大腸カメラなどの検査後は、お腹がすいたらすぐに食べて帰ることができます（お店に当院からの紹介と言っても何の特典もありません）。

私を含め、スタッフはみんな美人？で優しく、明るい雰囲気の中で親しみがわくとよく言われます。「何か体調がおかしいなあ」などちょっとしたことでも、地域の皆様との連携を深めていきたいと思っておりますのでお気軽にご相談ください。これからは患者様のご紹介等でお世話になるとは思いますが、その時は宜しくお願ひします。

〒751-0847 下関市古屋町1-11-1 TEL：083-253-1368 <内科、消化器内科、外科、リハビリテーション科> 月～土：9：00～12：30、14：00～17：30（水・土：午前のみ）



やまうち内科循環器科 院長 やまうち まさつぐ 山内 正嗣 先生

下関医療センター、済生会下関総合病院に在籍した後、開業したため、市民病院の先生方とはあまりご縁がなかったのですが、今回、腎臓内科の関係で旧知の坂井先生から、このお話をいただき、新たな登録医として挨拶させていただきます。宜しくお願ひします。

私は昭和59年山口大学を卒業し第二内科に入局しました。当院は循環器内科を主な診療科とし、呼吸器疾患、腎臓病、リウマチ類縁疾患にいたる総合内科専門医として開業しました。お陰様で今年20周年を迎えました。

当院の特徴は、医療機関では県内唯一認可された厚生労働省指定運動療法施設を併設していることです。そこでは、積極的に、糖尿病、高血圧、脂質異常症や肥満症の方へ運動療法を導入し、「万病のもと」である肥満解消にむけてダイエット指導を行っています。また、当院の管理栄養士は、健康食で有名な「タニタ食堂」からタニタシェフの認定を受けています。山口県ではただ一人の公式認定タニタシェフです。東京丸の内のタニタ食堂と全く同じメニューをこの10月から、栄養指導の際に、実食の形態で提供する予定です。「タニタメニュー」が実際にこの下関で食べることができるようになります。ご期待ください。

〒750-0057 下関市筋川町3-6 TEL：083-228-0977 <内科、循環器科、呼吸器科、腎臓内科> 月～土：9：00～12：30、14：00～18：00（水：19：00まで、木・土：午前のみ）

外来診療のご案内

2017年8月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科	曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科		具嶋 正樹/村田 征喜	山口 敢	具嶋 正樹	山口 敢	村田 征喜
内科・呼吸器内科		川端 宏樹(※)				花香 哲也(※)
内科・循環器内科		金子 武生/與田 俊介	金子 武生	安田 潮人	辛島 詠士	辛島 詠士/與田 俊介
禁煙外来(午後・予約制)				金子 武生		
内科・腎臓内科			坂井 尚二 中村 亜輝子	荒瀬 北斗(※)	坂井 尚二 午前:千葉 弘胤/午後:吉村 潤子(※)	前田 大登(※)
内科・血液内科			久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科		大田 俊一郎 柏戸 佑介(※)		大田 俊一郎 真弓 武仁(※)(午後)	福元 遼(※)	大田 俊一郎
糖尿病内分泌代謝内科(午前中)			相良 理香子(※)			
内科				原田 由紀子		
渡航外来(予約制)						原田 由紀子
内科・胆膵外来		五十嵐 久人		五十嵐 久人		
神経内科(午前中・予約制)				本田 真也(※)		
精神科				中津 勇紀(※)		
消化管内視鏡		山口 敢	具嶋 正樹/村田 征喜	山口 敢	具嶋 正樹/村田 征喜	具嶋 正樹
胃透視			具嶋 正樹	村田 征喜		山口 敢
心臓血管外科			上野 安孝/木村 聡		上野 安孝/栗栖 和宏	
外科	午前	牧野 一郎 宮竹 英志	石光 寿幸 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	江口 大樹	石光 寿幸 大谷 和広
	午後	院長外来 (院外紹介)	乳腺外来 石光 寿幸 奥村 幹夫		ストーマ外来(第2第4)	乳腺外来 ストーマ外来(新患)第2第4 石光 寿幸
呼吸器・感染症外来(呼吸器外科)		吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一	吉田 順一
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)			井上 政昭		井上 政昭/森 將鷹	井上 政昭(予約のみ)
小児外科		福原 雅弘(要相談)		福原 雅弘/九大派遣医師		
脳神経外科		中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/岩城 克馬	中村 隆治/尾中 貞夫		中村 隆治/尾中 貞夫 岩城 克馬(午後)
整形外科	再診	白澤 建藏 鶴居 亮輔(新患/再来)	渡邊 哲也/古川 寛(新患/再来) 藤井 勇輝	山下 彰久	原田 岳/橋川 和弘	野村 裕/杉 修造
	新患	橋川 和弘	野村 裕	白澤 建藏(紹介状必要) 原田 岳(紹介状必要) 藤井 勇輝	山下 彰久 杉 修造	渡邊 哲也 喜多 正孝(※)
泌尿科	一診(初診)	吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟
	二診(予約のみ)	松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠	吉弘 悟	松隈 悠
眼科		石村 良嗣	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣	石村 良嗣(午前中)	石村 良嗣
放射線診断科			箕田 俊文			
放射線治療科		有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子
小児科	午前	河野 祥二/岡田 裕介	河原 典子(※)	岡田 裕介	河原 典子(※)	東 良紘(※)/岡田 裕介
	予約制	アレルギー	永田 良隆(新患)	河野 祥二		永田 良隆(再診)
	予約制	心身症			大賀 由紀(※)	
	午後	健診・予防接種	河原 典子(※)/河野 祥二		河原 典子(※)/岡田 裕介	
産婦人科	午前	アレルギー		河野 祥二/岡田 裕介		永田 良隆 河野 祥二
	予約制	慢性疾患			大賀 由紀(※)	
	予約制	心身症 神経		綿野 友美(※)		
産婦人科	一診	前田 博敬	川崎 憲欣	前田 博敬	前田 博敬	川崎 憲欣
	二診	川崎 憲欣(第2・第4のみ)		川崎 憲欣	前原 佳奈(※)	
	午後	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制) 母親学級(第2・第3)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)
疼痛外来 ペインクリニック内科		藤原 義樹		藤原 義樹		藤原 義樹
皮膚科		内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛	内田 寛 午後の外来は13~14時受付	内田 寛 午後:手術	内田 寛 午後の外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科		平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 齊藤 雄一	平 俊明 伊藤 彩(※)	平 俊明 齊藤 雄一	平 俊明 齊藤 雄一
歯科・歯科口腔外科		上原 雅隆 入学 陽一(※)(予約のみ)	上原 雅隆 長畑 佐和子	上原 雅隆 高橋 理(※)	上原 雅隆 長畑 佐和子	上原 雅隆 入学 陽一(※)(予約のみ)
緩和ケア外来						牧野 一郎/午前中(予約制)
救急科(午前・午後)		中原 千尋/川地 眸	尾中 貞夫	中原 千尋/江口 大樹	中原 千尋/尾中 貞夫	中原 千尋/川地 眸

◆糖尿病教室 (要予約: 内科外来にお問い合わせください。)

◆ペースメーカー外来 (内科外来: 要予約) 毎月第2月曜日13:00~15:00 (第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)

◆渡航外来 (要予約) 毎月第2・5金曜日は13:00~15:00



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOZEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号

TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838

ホームページアドレス <http://shimonosekicity-hosp.jp/>

病診連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861

禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。